

第3章

新たな県づくりの推進方向

1 県づくりに向けて

～人口減少問題への挑戦～

我が国は本格的な人口減少社会に突入し、今後も更なる人口の減少が見込まれています。人口減少問題は、国の未来を左右する大きな問題であり、今まさに手を打っていかねばならない重要な岐路に立たされています。

地方はもっと深刻な状況にあります。大都市圏への人口移動が一貫して続いており、地方圏の人口は大幅に減少し、地域の活力が奪われ、このことがさらに人口減少に拍車をかけています。

人口の減少は消費活動の衰退を招くとともに、産業を担う労働力人口が減り、県の発展を支える産業や経済が縮小の一途を辿ることになりかねません。また、地域では担い手不足が深刻化し、コミュニティ活動や伝統文化等の継承が困難となり、特に中山間地域では集落そのものの維持さえも難しくなっているところもあります。

こうした人口の流出を食い止めることや少子化の流れに歯止めをかけることは大変困難であり、県の努力だけでは目の前に立ちはだかる幾多の課題を解決することは容易なことではありませんが、今を生きる私たちは豊かな自然や歴史・文化、特色ある産業など本県の優れた特性を最大限に活かし、次代を担う子どもたちのためにも力を合わせ、人口減少社会に果敢に挑戦し、未来を変えていくために最大限の努力をしていかなければなりません。

新たな県づくりに向けては、人口減少や少子高齢化など時代が突き付けている課題を正面から受けとめ、山口県の元気を創出していくために、県づくりの基本目標の実現を目指し、私たちの総力を結集して取組を推進していくことが必要です。

2 県づくりの基本目標

「活力みなぎる山口県」の実現

人や物の交流が進み、活発な経済活動を通じて多くの雇用が生まれている。人々が協力し時代に合った魅力ある地域づくりの取組が進んでいる。地域社会で活躍する個性豊かな人材が集い、全ての県民が将来に夢や希望を持って、安心・安全に暮らしている。

県づくりの推進力となる人口の減少に歯止めをかけ、そして人口減少・少子高齢社会にあっても、元気な産業や活気ある地域の中で、県民誰もがはつらつと暮らせる「活力みなぎる山口県」の実現を私たちは目指します。

「活力みなぎる山口県」の姿

- 産業基盤の強化・充実や新たな研究開発・事業化に向けた取組等により、企業の活力が増進し、雇用が創出され、経済の好循環が生まれています。また、県産農林水産物の認知度が高まり、首都圏や海外等でも需要が拡大するとともに、観光地には国内外から多くの観光客が訪れ賑わっています。
- 地域では、互いの絆を大切にし、支え合い・助け合い（共助）の活動が広がっています。また、都市部においても、中山間地域においても、暮らしやすい環境が整い、若い世代の定着・還流・移住が進み、地域の資源や特色を活かした魅力ある地域づくりが展開されています。
- 安心して子どもを育てることができる環境や、しっかりとした教育が受けられる環境が整い、子どもや若者がふるさとに誇りを持ち将来に夢や希望を抱いています。また、女性や若者、高齢者、障害者など、あらゆる県民が持てる力を発揮し、いきいきと活躍しています。
- 医師・看護師等の確保も進み、医療や介護、福祉対策も充実しています。また、地震や津波などの自然災害への対策も進み、子どもから高齢者に至るまで全ての県民が安心して暮らしています。

3 県政推進の基本姿勢

県政の推進に当たっては、次の2つを基本姿勢として、新たな県づくりを進めます。

■市町、関係団体、企業、県民の力の結集

新しい山口県は、行政はもとより、全ての主体が自ら行動し、共に支え合い、一緒になって創り上げていくことが重要です。

- ・住民に身近な自治体である市町との連携をより強化
- ・関係団体や企業等が有するノウハウや強みを活かした施策を推進
- ・県民一人ひとりが社会の担い手として参画する県づくりを推進

■現場重視・成果重視・スピード重視の3つを基本

現場目線に立ち、今なすべきことに、できることからスピード感を持って対応することが重要です。

- ・市町や県民の皆様との直接対話の機会を通じて、現場ニーズを直接、把握
- ・常に成果を意識した施策を展開し、成果の発信・共有に努めるとともに、より成果を上げることのできる施策へと改善・見直しを実施

4 新たな県づくりと地方創生

人口減少・少子高齢化という課題に正面から向き合い、総力を結集して「活力みなぎる山口県」を実現していくためには、

- 地域の強みを活かした産業の振興を図ることにより、安定した雇用の場を創出していくことが必要です。
- また、人々が住み慣れた地域で元気に暮らすことができ、新たな人の流れも呼び込めるよう、将来にわたって維持・発展できる地域づくりを進めることが必要です。
- さらに、産業や地域を支えていくのは人であり、希望する人が安心して結婚、妊娠・出産、子育てができる環境や、女性や若者などあらゆる人々が活躍できる基盤を充実させていくことも必要です。
- 全ての県民が安心して安全に生活できる環境を確保することは、県づくりの基本であり、しっかりと対応する必要があります。

チャレンジプランでは、これらの方向性に沿った取組を掲げ、新たな県づくりを確実に進めていきます。

国の進める「地方創生」の取組

現在、国においても、地方での「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立することで、地方への新たな人の流れを生み出し、「まち」に活力を取り戻す「地方創生」に向けた総合的な取組が進められています。

新たな県づくりと国の「地方創生」の取組の方向性は、まさに軌を一にするものであり、チャレンジプランを強力に推進していくことが、本県発の地方創生につながるものと考えています。

このため、国の政策と呼応して、地方が成長する力を取り戻し、人口減少社会を克服していくための山口県版の「地方創生総合戦略」を、平成27年度中に策定することとしています。

■チャレンジプランと総合戦略

《未来開拓チャレンジプラン》

- 県政全般にわたる政策の基本的な方向をまとめた総合計画であり、かつ、その基本方向に沿って取り組むべき具体的施策を掲げた実行計画的な性格も兼ね備えるものです。

《山口県版の地方創生総合戦略》

- チャレンジプランの中で、「まち・ひと・しごと」の創生に資する施策を戦略化し、実践的な取組を重点的に推進するための計画です。

